

日光修学旅行と上郷体験学習

9月には、7～8日に6年日光修学旅行、14～15日に4年上郷体験学習を実施しました。宿泊体験をとおして、子どもたちのがんばりや成長を実感した担任の感想をエピソードも交えて紹介します。

日光修学旅行

修学旅行の2日間だけではなく、7月から始めた事前の準備。加えて、帰ってきてからの5年生に向けたガイドブック作りなどをとおして、子どもたちの成長を感じました。そして、学年の深まりを感じました。

＜6年1組担任 清水 隆平＞

役割を自覚して自分たちで準備を進め、当日は1日目より2日目と、友達に協力できるフォロアが増えていき、グループ行動が充実していきました。湯滝から流れる水を触って「熱くない」「湯気が出ていない」「冷めちゃったのかな」と真剣に考えている子どもたちがとてもかわいらしかったです。

＜6年2組担任 田邊 絵理＞

雨天にもかかわらず、自分たちで過ごし方を工夫するなどして、心に残る修学旅行を作り上げていました。宿の前の足湯では、お湯が少々熱かったのですが、子どもと足首まで真っ赤にして浸かりました。でも、その後はスッキリ！

＜4組5組担任 保科 清史＞

上郷体験学習

上郷での2日間、子どもたちはパワフルに活動しました。学年としての一体感を感じ、グループ毎に協力しながら自発的に行動する姿が見られました。自分たちで作ったカレーライスを満足した様子で食べていたのがよかったです。

＜4年1組担任 中川 浩二＞

子どもたちが時間を守ろうと互いに声をかけ合って行動していたことに成長を感じました。普段給食をおかわりしない子たちもカレーをたくさん食べました。自分たちで作ったカレーの味は格別だったようで、笑顔で食べていました。

＜4年2組担任 斎藤 敦子＞

雨上がりにもかかわらず、たくさんの生き物を観察しました。ザトウムシやウマオイなど、ケースを囲み頭を寄せ合って観察する姿に心が温かくなりました。お互いに助け合い、励まし合いながら活動している姿に成長を感じました。

＜4年3組担任 國府田優美子＞

普段なら諦めてしまいそうなところを互いに声をかけ合い、最後までがんばっていた姿に成長を感じました。特に、ウォークラリーでは、「あともう少しがんばろう。」「みんなでゴールしよう。」と励まし合い、協力して問題を解く姿が印象に残っています。

＜4組5組担任 黒政 暦美＞



子どもたちの感想も合わせて見てみると、体験の様子が生き生きと伝わってきます。後期に向けて、さらなる学年や学校全体での活動の充実にかかしていきましょう。